

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科
幹細胞・免疫発生研究室
教授 長澤 丘司 先生
2. 演題 骨と造血幹細胞を維持する骨髄の微小環境(ニッチ)の解明
3. 日時 平成30年9月18日(火)17:30~19:30
4. 場所 M&Dタワー 2階 共用講義室2

5. 要旨

生涯にわたり血液細胞を供給する造血幹細胞は、骨髄のニッチと呼ばれる特別な微小環境に接着し、維持されている。私たちは、骨髄で、免疫担当細胞の産生と造血幹細胞の維持に必須の CXCL12 を高発現し、長い突起を持った細網細胞(CAR 細胞)を同定した。CAR 細胞は、転写因子 Foxc1 と Ebf3 を特異的に高発現し、造血幹細胞の大部分と接着し、その維持と造血に必須のニッチを構成する。最近、CAR 細胞は、骨髄の骨芽細胞と脂肪細胞の大部分を供給する間葉系幹細胞であること、Foxc1 と Ebf3 が造血幹細胞ニッチの形成と維持、CAR 細胞の脂肪細胞や骨芽細胞への分化の抑制に必須であることを明らかにした。

参考文献 1, Sugiyama, T. et al., Immunity 25, 977 (2006). 2, Omatsu, Y. et al., Immunity 33, 387 (2010).
3, Omatsu, Y. et al., Nature 508, 536 (2014). 4, Seiki, K. et al., Genes Dev. 32; 359 (2018).

連絡先: 中島 友紀 (分子情報伝達学分野 内線5472)